

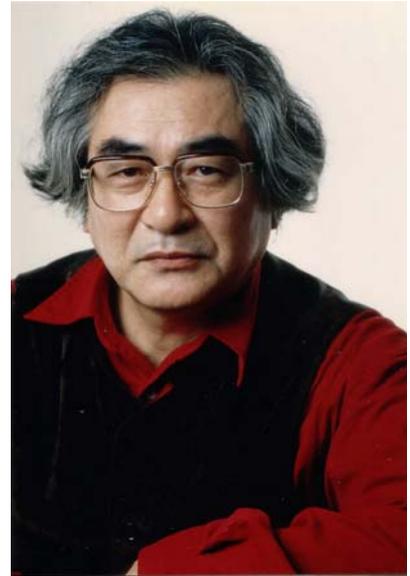
Spirit Garden Hall

緞帳画

(緞帳 18×10.5m)



蒲 雄二作 「創造のドラムは響き」



蒲 雄二氏

飛騨市古川町出身でモダンアート協会々員の画家蒲雄二氏の作品を緞帳の画材に採用させて頂きました。蒲氏は関東飛騨会の会長をつとめられるなどふるさと飛騨市を常に根底におかれ、また大切にされながら東京を拠点に活躍されています。蒲氏の日本のモダンアート界での積極的な取り組み姿勢は、まさに飛騨市の文化創造発信の拠点として、新たに誕生したこのホールの限りない可能性と積極性に重ねあうものがあります。これからの世代を背負っていく子どもたちをはじめ多くの市民に、このホールが、新しい広がりある文化創造の場であることの示唆をこの緞帳画は与えてくれるものと期待するのものです。

画材となるこの作品は、線の動き、線の表情だけを用いながら、自然のもつリズムに自らを重ねあわせていくことを模索しながら表現されています。この緞帳が発信する自然と人の融合というメッセージは、様々な文化芸術においてこの舞台が発信するものの方向性に通じるもので、この舞台に関わる様々な人々が白いキャンパスを構成する線のごとく、このホール空間で自由活発に活動する姿が象徴されているかのようです。

また神岡町にて平成17年5月、開館した地域交流センター船津座の緞帳は、神岡町出身で同じく東京でご活躍の上葛明宏氏の作品が画材となっており、飛騨市合併後同時期に誕生した両交流センターの緞帳にそれぞれ時の地元出身画家の両氏が参加されたことは、新市の輝かしい未来に向かい新たな文化を切り開いていくはじめての一步を象徴しているものといえましょう。

蒲 雄二 略歴

- 1937年 岐阜県飛騨市古川町壺之町生
- 1960年 成蹊大学政経学部卒
- 1966年 モダンアート展
- 1977年 日伯現代美術展。以降4回出品
- 1979年 亜細亜美術展初出品
- 1984年 亜細亜美術交友会会員推挙
- 1984年 日本青年館ギャラリー選抜展 奨励賞受賞
- 1988年 安田火災美術財団奨励賞展(東郷青児美術館)
- 1989年 日本アジア航空賞受賞(台湾高雄美術展)
- 1990年 第8回上野の森美術館大賞展。第10回まで3年連続出品。
モダンアート明日への展望展。93, 95, 99年以降毎年出品。
- 1991年 モダンアート会友推挙
第5回多摩秀作美術展。翌年第6回まで出品。
第27回亜細亜美術理事賞(上野都美術館)
- 1994年 モダンアート展会友出品。以降99年まで会友出品。
- 1999年 モダンアート協会会員推挙。以降現在まで毎年会員出品。
- 2000年 高山市展招待。以降01, 03年招待。
- 2002年 多摩の作家絵画展。(たましん歴史美術館)

個展・グループ展

- 1966年 おぎくぼ画廊(東京)
- 1975年 岐阜日々新聞ホール(高山市)
- 1976年 モリシタ画廊(高山市)。92年も開催。
- 1978年 西友永山店(東京)、古川町福祉会館
- 1993年 調布サンマロー(調布市)、たましんギャラリー(国立市)
- 1994年 武蔵野美術家展グループ展。以降97年まで毎年開催。
有楽町交通会館。以降96年まで毎年開催。
- 1996年 マッド21展グループ展。
- 1998年 田無テブコプラザ(田無市)
- 1999年 銀座 ギャラリーしらの(東京)
- 2002年 銀座 櫛画廊。04年も開催。(東京)